

IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 向け Dell OpenManage Connection バージョン 3.0 インストールガイド

メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2011 - 2018 Dell Inc. またはその関連会社。All rights reserved. Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次

1 はじめに.....	5
2 作業を開始する前に.....	7
管理システムのための対応オペレーティングシステムと要件.....	7
管理下システムの対応オペレーティングシステム.....	9
サポートされる Dell デバイスとファームウェア.....	10
3 Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus のインストール.....	13
Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus パッケージ詳細.....	13
Netcool/OMNibus コンポーネントのための統合詳細.....	14
プローブ統合のインストール.....	14
ObjectServer 統合のインストール.....	16
VMware ESXi 5.5 以降を実行している Dell サーバーまたはワークステーションからのイベントを監視するための Dell ツールの再設定.....	17
ObjectServer での Dell Server Administrator Web Server コンソールの設定.....	17
ObjectServer での OpenManage Essentials (OME) コンソールの設定.....	18
ObjectServer での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定.....	18
ObjectServer での Dell OpenManage Network Manager (OMNM) コンソールの設定.....	19
ObjectServer での Dell AirWave Management Platform コンソールの設定.....	19
ObjectServer での Dell Connections License Manager コンソールの設定.....	19
Dell ConfigUtility.....	20
デスクトップ統合のインストール.....	20
デスクトップに対する Dell ConfigUtility の使用.....	21
デスクトップサーバーでの Dell 保証レポートツールの設定.....	22
Web GUI 統合のインストール.....	22
Web GUI への Dell ConfigUtility の使用.....	24
Web GUI サーバーでの Dell ツールメニューのアップデート.....	25
Web GUI での Dell Server Administrator Web Server コンソールの設定.....	25
Web GUI での Dell OpenManage Essentials (OME) コンソールの設定.....	26
Web GUI での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定.....	26
Web GUI での Dell OpenManage Network Manager (OMNM) コンソールの設定.....	26
Web GUI での Dell AirWave Management Platform コンソールの設定.....	27
Web GUI での Dell Connections License Manager コンソールの設定.....	27
Web GUI での Dell 保証レポートツールの設定.....	27
Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの Dell コンソールの設定.....	28
4 Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus のアップグレード.....	29
5 Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus のアンインストール.....	30
プローブ統合のアンインストール.....	30

ObjectServer 統合のアンインストール.....	30
デスクトップ統合のアンインストール.....	32
Web GUI 統合のアンインストール.....	32
6 デルサポートサイトからのマニュアルへのアクセス.....	34
7 デルへのお問い合わせ.....	35

はじめに

本ガイドには、Dell OpenManage Connection Version 3.0 for IBM Tivoli Netcool/OMNIBus に対するソフトウェア要件とシステム要件、およびインストール、設定、アンインストールの手順についての情報が記載されています。

Dell OpenManage Connection for IBM Tivoli Netcool/OMNIBus は、IBM Tivoli Netcool/OMNIBus によって管理される環境内の Dell Original Equipment Manufacturing (OEM) サーバー、Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS)、PowerEdge サーバー、Dell Remote Access Controller (DRAC)、ワークステーション、シャーシ、ストレージ、およびネットワークデバイスのカスタマーによる監視を可能にします。また、Dell OpenManage Connection では、受信したアラートからの Dell デバイスおよびその他の Dell ツールのコンソール起動もサポートし、さらに詳細なトラブルシューティングと設定、または管理アクティビティを行うことができます。

Dell OpenManage Connection は、次の Dell デバイスをサポートしています。

- Dell OEM サーバー
- Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS)
- Dell 第 10 世代 Dell PowerEdge サーバーから Dell 第 13 世代 PowerEdge サーバー
- Dell Precision ラック型ワークステーション
- Dell Remote Access Controller :
 - Integrated Dell Remote Access Controller 8 (iDRAC8)
 - Integrated Dell Remote Access Controller 7 (iDRAC7)
 - Integrated Dell Remote Access Controller 6 (iDRAC6)
 - Dell Remote Access Controller 5 (DRAC5)
- Dell シャーシ :
 - Dell PowerEdge FX2
 - Dell PowerEdge VRTX
 - Dell PowerEdge M1000e
- Dell ストレージアレイ :
 - Dell Compellent ストレージアレイ
 - Dell 第 10 世代 PowerVault NX ストレージアレイから Dell 第 12 世代 PowerVault NX ストレージアレイ
 - Dell EqualLogic PS-Series ストレージアレイ
 - PowerVault MD ストレージアレイ
- Dell ネットワークスイッチ :
 - S シリーズスイッチ
 - M シリーズスイッチ
 - Z シリーズスイッチ
 - C-Series スイッチ
 - N シリーズスイッチ
 - W-Series スイッチ

このガイドは、IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.3.1、7.4、または 8.1 に詳しいシステム管理者を対象としています。

このバージョンの Dell OpenManage Connection for IBM Tivoli Netcool/OMNIBus をインストールする前に、dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement から最新のインストールガイドをダウンロードしてください。

マニュアルへのアクセスについての詳細は、「[デルサポートサイトからの文書へのアクセス - ソフトウェア](#)」を参照してください。

作業を開始する前に

次の前提条件を完了してください。

トピック：

- 管理システムのための対応オペレーティングシステムと要件
- 管理下システムの対応オペレーティングシステム
- サポートされる Dell デバイスとファームウェア

管理システムのための対応オペレーティングシステムと要件

次の表は、Netcool/OMNibus バージョン 7.3.1、7.4、または 8.1 コンポーネントがインストールされているシステムでの Dell OpenManage Connection の統合に対するオペレーティングシステムと要件のリストです。

表 1. IBM Tivoli Netcool/OMNibus 8.1 向け Dell OpenManage Connection のための対応オペレーティングシステム

VMware vSphere ESXi	Windows サーバ	SUSE Linux Enterprise Server (SLES)	Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL)
ESXi 5.5	Windows Server 2012 R2 64 ビット (Standard、Datacenter)	SLES 12 64 ビット	RHEL 7.0-1 64 ビット (Server)
ESXi 5.0	Windows Server 2012 64 ビット (Standard、Datacenter)	SLES 11.0-4 64 ビット	RHEL 6.0-7 64 ビット (Client、Server、Workstation)
ESXi 4.1			RHEL 5.7-11 64 ビット (Advanced、Desktop)
ESXi 4.0			RHEL 5.7-10 64 ビット (Server)
ESXi 3.5			
ESX 3.5			

表 2. IBM Tivoli Netcool/OMNibus 7.4 向け Dell OpenManage Connection のための対応オペレーティングシステム

VMware vSphere ESXi	Windows サーバ	Windows クライアント	SUSE Linux Enterprise Server (SLES)	Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL)	SUSE Linux for Desktop (SLED)
ESXi 5.5	Windows Server 2008 R2 64 ビット SP1 (Enterprise、Datacenter、Standard)	Windows 7 32 ビット SP1 (Enterprise、Professional)	SLES 11.0-3 64 ビット	RHEL 6.0-5 64 ビット (Server、Workstation)	SLED 11.0-3 64 ビット
ESXi 5.0	Windows Server 2008 R2 32 ビット SP2 (Enterprise、Standard)	Windows 8 64 ビット (Enterprise、Professional、Standard)	SLES 10.0-4 64 ビット	RHEL 6.0-10 64 ビット (Advanced、Desktop、Server)	SLED 10.0-3 64 ビット

VMware vSphere ESXi	Windows サーバ	Windows クライアント	SUSE Linux Enterprise Server (SLES)	Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL)	SUSE Linux for Desktop(SLED)
ESXi 4.1	Windows Server 2008 64 ビット SP2 (Enterprise、Standard)	Windows 7 64 ビット SP1 (Enterprise、Professional)			
ESXi 4.0	Windows Server 2012 R2 64 ビット (Datacenter、Essentials、Standard)				
ESXi 3.5	Windows Server 2012 64 ビット (Datacenter、Essentials、Standard)				
ESX 3.5					

表 3. IBM Tivoli Netcool/OMNibus 7.3.1 向け Dell OpenManage Connection のための対応オペレーティングシステム

VMware vSphere ESXi	Windows サーバ	Windows クライアント	SUSE Linux Enterprise Server (SLES)	Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL)	SUSE Linux for Desktop(SLED)
ESXi 5.5	Windows Server 2008 R2 64 ビット SP1 (Enterprise、Datacenter、Standard)	Windows Vista Enterprise 64 ビット SP 2	SLES 11.0-3 64 ビット	RHEL 6.0-5 64 ビット (Client、Server、Workstation)	SLED 11.0-3 64 ビット
ESXi 5.0	Windows Server 2008 R2 32 ビット SP2 (Enterprise、Standard)	Windows Vista Enterprise 32 ビット SP 2	SLES 11.0-3 32 ビット	RHEL 6.0-5 32 ビット (Server、Workstation)	SLED 10.0-4 64 ビット
ESXi 4.1	Windows Server 2008 64 ビット SP2 (Enterprise、Standard)	Windows Vista Ultimate 64 ビット SP2	SLES 10.0-4 64 ビット	RHEL 6.0-4 32 ビット (Client)	SLED 10.0-4 32 ビット
ESXi 4.0	Windows Server 2008 32 ビット SP2 (Enterprise、Standard)	Windows Vista Ultimate 32 ビット SP2	SLES 10.0-4 32 ビット	RHEL 5.0-10 64 ビット (Advanced、Desktop、Server)	
ESXi 3.5		Windows XP Professional 32 ビット SP3		RHEL 5.0-10 32 ビット (Advanced、Desktop、Server)	
ESX 3.5		Windows 7 64 ビット SP1 (Professional、Enterprise) Windows 7 32 ビット SP1 (Professional、Enterprise)			

表 4. IBM Netcool/OMNIBus コンポーネント要件

コンポーネント	要件	目的
プローブ	MTTrapd Simple Network Management Protocol (SNMP) プローブと Netcool/OMNIBus Knowledge Library (NcKL) を設定します。	Dell デバイスによって送信された SNMP トラップの受信と処理。
ObjectServer	confpack ユーティリティをインストールおよび設定します。	Dell 統合自動化トリガ、ツール、メニュー、および変換クラスのインポート。
デスクトップ	デスクトップと Dell デバイス間における SNMP/WS-MAN 通信が確立されていることを確認します。	Dell デバイスからの必要な情報の取得。
Web GUI	OMNIBus Web GUI および WAAPI をインストールおよび設定します。 Web GUI サーバーと管理下 Dell システム間における SNMP/WS-MAN 通信チャネルが確立されていることを確認します。	Dell OpenManage Connection に使用できる Dell ツールのサポート。 Dell デバイスからの必要な情報の取得。

管理下システムの対応オペレーティングシステム

次の表は、対応 Dell デバイスでサポートされているオペレーティングシステムのリストです。

表 5. Dell ワークステーションの対応オペレーティングシステム

VMware vSphere ESXi	Windows サーバ	SUSE Linux Enterprise Server (SLES)	Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL)
ESXi 6.0 U1	Windows Server 2012 R2 (Datacenter、Foundation、Essentials、および Standard の各エディション)	SLES 12 64 ビット	RHEL 7.2 64 ビット
ESXi 5.5 U3	Microsoft Windows Server 2008 R2	SLES 11 SP4、64 ビット	RHEL 7.1 64 ビット
ESXi 5.5 U2	Windows 7 Professional 32 ビット および 64 ビット Microsoft Windows Server 2008 SP1		RHEL 7.0 64 ビット RHEL 6.7 64 ビット

表 6. Dell サーバーの対応オペレーティングシステム

VMware vSphere ESXi	Windows サーバ	SUSE Linux Enterprise Server (SLES)	Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL)
ESXi 6.0 U1	Windows Server 2012 R2 (Datacenter、Foundation、	SLES 12 64 ビット	RHEL 7.2 64 ビット

VMware vSphere ESXi	Windows サーバ	SUSE Linux Enterprise Server (SLES)	Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL)
	Essentials、および Standard の各エディション)		
ESXi 6.0	Microsoft Windows Server 2012 Essentials	SLES 11 SP4 (64 ビット)	RHEL 7.1 64 ビット
ESXi 5.5 U3	Windows Essential Business Server 2008 SP1		RHEL 7.0 64 ビット
ESXi 5.5 U2	Windows Essential Business Server 2008 SP1		RHEL 6.7 64 ビット
ESXi 5.5	Windows Server 2008 SP2 32 ビットおよび 64 ビット		RHEL 6.5 64 ビット
ESXi 5.1 U3	Windows Server 2008 R2 64 ビット		RHEL 6.2 64 ビット
ESXi 5.1 U2	Windows Server 2008 R2 SP1 64 ビット		RHEL 6.0 64 ビット
ESXi 5.1 U1	Windows Server 2008 R1 および R2 (HPC Edition)		RHEL 5.9 64 ビットおよび 32 ビット
ESXi 5.1	Windows Storage Server 2008 SP2		RHEL 5.5 64 ビットおよび 32 ビット
ESXi 5.0 U3	Windows Small Business Server 2008 SP2		RHEL 5.3 64 ビットおよび 32 ビット
ESXi 5.0 U2	Windows Small Business Server 2008 R2		RHEL 5.0 64 ビットおよび 32 ビット
ESXi 5.0 U1	Microsoft Windows Small Business Server 2011		
	Microsoft Windows Server 2012		
	Windows Small Business Server 2003 R2 SP2		
	Windows Server 2003 R2 32 ビットおよび 64 ビット		
	Windows Storage Server 2003 R2		
	Windows Server 2003 (Computer Cluster Edition)		
	Windows Unified DataStorage Server 64 ビット		

① **メモ:** Windows を実行しているシステムに ITNM 向け Dell OpenManage Connection をインストールした場合は、ActivePerl もシステムにインストールされていることを確認してください。

サポートされる Dell デバイスとファームウェア

次の表は、Dell OpenManage Connection 向けの Dell デバイスと、それらの対応ファームウェアバージョンのリストです。

表 7. Dell デバイスとファームウェア

Dell デバイス	対応 OMSA バージョン	対応ファームウェアバージョン
Dell OEM サーバー	<ul style="list-style-type: none"> • 8.3 • 8.2 • 8.1 	該当なし
Dell PowerEdge サーバー	<ul style="list-style-type: none"> • 8.3 • 8.2 • 8.1 	該当なし
Dell ワークステーション	<ul style="list-style-type: none"> • 8.3 • 8.2 • 8.1 	該当なし
Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS 1500 および DSS 2500)	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 2.30.30.30 • 2.16.16.12
Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS 1510)	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 2.30.30.30 • 2.17.17.13
iDRAC8	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 2.30.30.30 • 2.20.20.20
iDRAC7	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 2.30.30.30 • 2.20.20.20
iDRAC6 モジュラー	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 3.6 • 3.5
iDRAC6 モリシック	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 1.97 • 1.96
DRAC5	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 1.6 • 1.5
FX2 CMC	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 1.4 • 1.3
VRTX CMC	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 2.2 • 2.1
CMC	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • 5.2 • 5.1
Dell PowerVault MD3460/3860f/3860i ストレージアレイ	<ul style="list-style-type: none"> • 8.3 • 8.2 • 8.1 	該当なし

Dell デバイス	対応 OMSA バージョン	対応ファームウェアバージョン
Dell Compellent ストレージアレイ	該当なし	6.6.2
Dell EqualLogic PS-Series ストレージアレイ	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> 8.1 8.0
PowerVault MD ストレージアレイ	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> 08.20.09.60 08.10.05.60
Dell ネットワークスイッチ	該当なし	<p>S-Series</p> <ul style="list-style-type: none"> S55 (8.3.5.5 および 8.3.5.3) S60 (8.3.3.9 および 8.3.3.8) S4810 (9.6 および 9.5) S4820T (9.5 および 9.4) S5000 (9.1 および 9.0) S6000 (9.5 および 9.4) <p>M-Series</p> <ul style="list-style-type: none"> MXL (9.6 および 9.5) MIOA (9.5 および 9.4) <p>Z-Series</p> <ul style="list-style-type: none"> Z9500 (9.2) Z9000 (9.5 および 9.4) <p>C-Series</p> <ul style="list-style-type: none"> C150 (8.4.6.0) C300 (8.4.5.0) <p>N-Series</p> <ul style="list-style-type: none"> 6.1.2 および 6.1 <p>W-Series</p> <ul style="list-style-type: none"> W-Series モビリティコントローラ (6.4)

① **メモ:** Dell ワークステーションとは、Dell Precision R7910 ラックワークステーションを指しています。

Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus のインストール

Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus をインストールするには、Netcool/OMNibus コンポーネントをインストールしたシステムでコンポーネント固有ファイルを解凍して導入する必要があります。コンポーネント固有ファイルの解凍の詳細については、「[Netcool/OMNibus コンポーネントのための統合詳細](#)」を参照してください。

ファイルの展開を開始する前に、次を行ってください。

- 1 [dell.com/support](#) から `Dell_OpenManage_Connection_for_OMNibus_v3_0.zip` ファイルをダウンロードして、フォルダに内容を解凍します。zip ファイルの内容の詳細については、「[Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus パッケージの詳細](#)」を参照してください。
- 2 Netcool/OMNibus コンポーネントをインストールしたシステムのいずれかに Netcool システム管理者としてログインします。

トピック：

- [Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus パッケージ詳細](#)
- [プローブ統合のインストール](#)
- [ObjectServer 統合のインストール](#)
- [Dell ConfigUtility](#)
- [デスクトップ統合のインストール](#)
- [Web GUI 統合のインストール](#)

Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus パッケージ詳細

Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus は zip ファイルとしてパッケージされています。これは、VMware ESXi 環境を含む Windows および Linux を実行しているシステムに該当します。`Dell_OpenManage_Connection_for_OMNibus_v3_0.zip` zip ファイルを解凍すると、次のフォルダとファイルが抽出されます。

- `desktop_integration`
- `objectserver_integration`
- `probe_integration`
- `webgui_integration`
- `Dell_OMC_3_0_For_IBM_OMNibus_IG.pdf`
- `Dell_OMC_3_0_For_Omnibus_ReadMe.txt`
- `license_en.txt`

① **メモ:** フォルダとファイルが解凍され、システム要件が満たされたら、インストールに進む前に `Dell_OMC_3_0_For_Omnibus_ReadMe.txt` および `license_en.txt` ファイルが表示されることを確認してください。

対応する Netcool/OMNibus コンポーネントにフォルダの内容を導入して、サポートされている Dell デバイスを監視します。

Netcool/OMNIBus コンポーネントのための統合詳細

以下の表には、Dell OpenManage Connection 向けの Netcool/OMNIBus コンポーネントと統合フォルダがリストされています。Dell OpenManage Connection の統合ファイルを、対応するフォルダから Netcool/OMNIBus コンポーネントフォルダに導入してください。

表 8. Netcool/OMNIBus コンポーネント

コンポーネント	統合フォルダ
probe_integration	対応 Dell デバイス用のルールとロックアップテーブルファイルが含まれています。
objectserver_integration	エクスポートされた Dell 統合自動化トリガ、ツール、メニュー、および変換クラスが含まれています。
desktop_integration	対応 Dell デバイス用コンソールの設定および起動に必要なユーティリティが含まれています。
webgui_integration	Netcool/OMNIBus Web GUI から Dell デバイスコンソールを設定するために必要な Dell 統合ツール、メニュー、およびユーティリティが含まれています。

プローブ統合のインストール

プローブ統合フォルダには、次のフォルダとバージョンファイルが含まれています。

- Dell

対応 Dell デバイスの統合を導入するには、次の手順を実行します。

- 1 probe_integration にある dell フォルダをコピーし、プローブコンポーネントをインストールしたシステムの %NC_RULES_HOME%\include-snmpttrap フォルダ内に置きます。

メモ: Linux を実行しているシステムでは、\$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap フォルダを使用します。

- 2 \$NC_RULES_HOME フォルダに移動し、snmpttrap-rules.file を開いて、次の手順を実行します。

- a include rules セクションに次のコマンドを追加します：

```
include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.rules"
```

- b include lookup table セクションに次のコマンドを追加します：

```
include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.lookup"
```

メモ: この手順は Linux を実行しているシステムにのみ適用されます。

- 3 コピーされた dell フォルダとそこにあるファイルが、IBM ガイドラインに従ったプローブルールの許可を持っていることを確認してください。詳細に関しては、IBM Netcool/OMNIBus マニュアルを参照してください。

- 4 以下の手順を実行します。

サーバートラップ

- a dell.master.include.lookup ファイルにある dell-StorageManagement-MIB.include.snmpttrap.lookup ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- b dell.master.include.rules ファイルにある dell-StorageManagement-MIB.include.snmpttrap.rules ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- c dell.master.include.lookup ファイルにある dell-MIB-Dell-10892.include.snmpttrap.lookup ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- d dell.master.include.rules ファイルにある dell-MIB-Dell-10892.include.snmpttrap.rules ファイルの include ステートメントをアンコメントします。

OOB サーバー (iDRAC8、iDRAC7) トラップ

- a **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell-IDRAC-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- b **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell-IDRAC-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。

FX2 CMC、VRTX CMC、CMC、iDRAC6、DRAC5 トラップ

- a **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell-RAC-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- b **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell-RAC-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。

Compellent ストレージアレイトラップ

- a **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell-STORAGE-SC-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- b **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell-STORAGE-SC-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。

EqualLogic トラップ

- a **dell.master.include.lookup** ファイルにある `equalLogic-EQLMEMBER-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- b **dell.master.include.lookup** ファイルにある `equalLogic-EQLDISK-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- c **dell.master.include.lookup** ファイルにある `equalLogic-SCSI-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- d **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-EQLMEMBER-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- e **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-EQLDISK-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- f **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-SCSI-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- g **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-ISCSI-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。

PowerVault MD ストレージアレイトラップ

- a **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell-MDStorageArray-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- b **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell-MDStorageArray-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。

Dell ネットワークスイッチトラップ

- S-Series、M-Series、Z-Series、および C-Series のスイッチ
 - 1 **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell.switch.master.include.lookup` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
 - 2 **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell.switch.master.include.rules` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。
- N シリーズスイッチ
 - 1 **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell.Nseriesswitch.master.include.lookup` ファイルの include ステートメントをアンコメントします。

- 2 **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell.Nseriesswitch.master.include.rules` ファイルの `include` ステートメントをアンコメントします。
- W-Series スイッチ
 - 1 **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell.Wseriesswitch.master.include.lookup` ファイルの `include` ステートメントをアンコメントします。
 - 2 **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell.Wseriesswitch.master.include.lookup` ファイルの `include` ステートメントをアンコメントします。
- 5 Windows を実行するシステムでは、Probe コンポーネントをインストールしたシステムの `%OMNIHOME%` ディレクトリに `delldevice_int_mttrapdprobe.ver` バージョンファイルをコピーします。Linux を実行している場合は、`delldevice_int_mttrapdprobe.ver` バージョンファイルを `$OMNIHOME` ディレクトリにコピーします。
 - 6 OMNIbus MTTrapd SNMP プローブサービス (`NCOMTTRAPDProbe`) またはプロセス (`nco_p_mttrapd`) を再起動します。

ObjectServer 統合のインストール

`objectserver_integration` folder フォルダには次のファイルとフォルダが含まれています。

- OMNIbus81
- `delldevice_confpack_64bit_v_3_0.jar`
- `delldevice_confpack_v_3_0.jar`
- `delldevice_int_objectserver.ver`

ObjectServer をホストするシステムに Dell 統合コンポーネントを導入するには、次の手順を実行します。

- 1 OMNIbus ObjectServer にアクセスするため、必要なセキュリティ資格情報で次のコマンドを実行します。
 - a IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 8.1 の場合 :
 - 64 ビット Linux を実行しているシステム :


```
$OMNIHOME/bin/nco_confpack -import -server <ObjectServer> -user <username> -password <password> -package <copied folder>/OMNIbus81/delldevice_confpack_64bit_v_3_0.jar
```
 - Windows を実行しているシステム :


```
%OMNIHOME%\bin\nco_confpack.bat -import -server <ObjectServer> -user <username> -password <password> -package <copiedfolder>\OMNIbus81\delldevice_confpack_v_3_0.jar
```
 - 32 ビット Linux を実行しているシステム :


```
$OMNIHOME/bin/nco_confpack -import -server <ObjectServer> -user <username> -password <password> -package <copied folder>/OMNIbus81/delldevice_confpack_v_3_0.jar
```
 - b IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 7.4 の場合 :
 - 64 ビット Linux を実行しているシステム :


```
$OMNIHOME/bin/nco_confpack -import -server <ObjectServer> -user <username> -password <password> -package <copied folder>/delldevice_confpack_64bit_v_3_0.jar
```
 - Windows を実行しているシステム :


```
%OMNIHOME%\bin\nco_confpack.bat -import -server <ObjectServer> -user <username> -password <password> -package <copiedfolder>\delldevice_confpack_v_3_0.jar
```
 - 32 ビット Linux を実行しているシステム :


```
$OMNIHOME/bin/nco_confpack -import -server <ObjectServer> -user <username> -password <password> -package <copied folder>/delldevice_confpack_v_3_0.jar
```

メモ: ObjectServer はデフォルトで NCOMS です。

- 2 デスクトップの イベントリスト で、**ファイル > 再同期化 > すべて** とクリックします。
この処置により、jar ファイルからアップデートされた Dell ツールおよび変換クラス用の新規追加メニューアイテムが同期化されます。

メモ: 再同期化は、ObjectServer 統合でのみ実行できます。

- 3 ObjectServer がインストールされているシステムの `%OMNIHOME%` ディレクトリに `delldevice_int_objectserver.ver` ファイルをコピーします。

① | **メモ:** Linux を実行しているシステムでは、\$OMNIHOME ディレクトリを使用します。

- 4 Web GUI を再起動します。

VMware ESXi 5.5 以降を実行している Dell サーバーまたはワークステーションからのイベントを監視するための Dell ツールの再設定

5.5 以降の VMware ESXi を実行している Dell サーバーまたはワークステーションによって生成されたイベントから RAC コンソールを起動する場合は、次のツールを再設定します。

- **LaunchDellOpenManageServerAdministratorConsole (Windows)**
- **LaunchDellOpenManageServerAdministratorConsole**
- **LaunchDellRemoteAccessControllerConsole (Windows)**
- **LaunchDellRemoteAccessControllerConsole**

再設定を行うには、次の手順に従う際に、Oracle Java version 1.6.0_18 以降のバイナリへのパスを提供します。

- 1 **設定** ウィンドウで、**メニュー** > **ツール** と選択します。
- 2 右ペインで **ツール** をダブルクリックして、**ツール** 詳細ウィンドウを起動します。
- 3 実行可能タブをクリックして、文字列を編集します。
たとえば、次のとおりです。

Windows を実行しているシステムの場合：

```
$ (NCHOME) \platform\win32\jre_1.6.7\jre\bin\java
```

を次のように変更します。

```
<installed custom Java path>\jre1.6.0_18\bin\java
```

Linux を実行しているシステムの場合：

```
$(NCHOME) /platform/linux2x86/jre_1.6.7/jre/bin/java
```

を次のように変更します。

```
<installed custom Java path>/jre1.6.0_18/bin/java
```

ObjectServer での Dell Server Administrator Web Server コンソールの設定

Dell Server Administrator Web Server コンソールは、デフォルトブラウザでのコンソールの起動に設定済み URL を使用します。Windows および Linux を実行しているシステムで Web Server コンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 OMNibus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ資格情報を入力します。
- 2 **設定** ウィンドウで、**メニュー** > **ツール** と選択します。
- 3 Windows を実行しているシステムでは、右のペインにある **Dell Server Administrator Web Server コンソールの起動** をダブルクリックして、**ツールの詳細** ウィンドウを起動します。
Linux を実行しているシステムでは、右のペインにある **Dell Server Administrator Web Server コンソールの起動** をダブルクリックして、**ツールの詳細** ウィンドウを起動します。
- 4 実行可能タブをクリックし、IP アドレスとポート番号を入力して次の URL を編集します。

```
https://<Server Administrator Web Server Host/IP>:<Server Administrator Web Server PORT>/omalogin.html?managedws=false&mnip=@Node
```

たとえば、次のとおりです。

<https://11.95.145.156:1311/omalogin.html?managedws=false&mnip=@Node>

詳細については、dell.com/support/home で『Dell サーバー管理者』マニュアルを参照してください。

ObjectServer での OpenManage Essentials (OME) コンソールの設定

OME コンソールは、設定された URL を使用してデフォルトブラウザでコンソールを起動します。
Windows を実行しているシステムで OME コンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 OMNIBus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ資格情報を入力します。
- 2 **設定** ウィンドウで、**メニュー** > **ツール** と選択します。
- 3 右のペインにある **Dell OpenManage Essentials コンソールの起動 (Windows)** をダブルクリックして、**ツール詳細** ウィンドウを起動します。
- 4 実行可能タブをクリックし、OME の IP アドレスとポート番号を入力して次の URL を編集します。

```
https://<OpenManage Essentials Host/IP>:<OpenManage Essentials PORT>
```

たとえば、次のとおりです。

```
https://11.95.145.156:2607/
```

詳細については、dell.com/support/home で『OpenManage Essentials ユーザーズガイド』を参照してください。

ObjectServer での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定

Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager (MDSM) は、個別のウィンドウでのコンソールの起動に設定済み URL を使用します。コンソールを起動するシステムに MSDM がインストールされていることを確認してください。

Windows および Linux を実行しているシステム上で MDSM クライアントのインストールパスを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 OMNIBus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ資格情報を入力します。
- 2 **設定** ウィンドウで、**メニュー** > **ツール** と選択します。
- 3 Windows を実行しているシステムで、右ペインにある **Dell Modular Disk Storage Manager の起動 (Windows)** をダブルクリックして、**ツール詳細** ウィンドウを起動します。

Linux を実行しているシステムで、右ペインにある **Dell Modular Disk Storage Manager の起動** をダブルクリックして、**ツール詳細** ウィンドウを起動します。

- 4 実行可能タブをクリックして、次のコマンドを編集します。

- Windows を実行しているシステムの場合

```
C:\Program Files (x86)\Dell\MD Storage Software\MD Storage Manager\client\Modular Disk Storage Manager Client.exe
```

- Linux を実行しているシステムの場合

```
"/opt/dell/mdstoragesoftware/mdstoragemanager/client/SMclient"
```

詳細に関しては、dell.com/support/home で『Modular Disk Storage Manager ユーザーズガイド』を参照してください。

ObjectServer での Dell OpenManage Network Manager (OMNM) コンソールの設定

Dell OpenManage Network Manager (OMNM) コンソールは、別のウィンドウでのコンソールの起動に設定済み URL を使用します。Windows および Linux を実行しているシステムで OMNM コンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 OMNibus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ資格情報を入力します。
- 2 **設定** ウィンドウで、**メニュー** > **ツール** と選択します。
- 3 Windows を実行しているシステムで、右ペインにある **OpenManage Network Manager の起動 (Windows)** をダブルクリックして **ツール詳細** ウィンドウを起動します。
Linux を実行しているシステムで、右ペインにある **OpenManage Network Manager の起動** をダブルクリックして **ツール詳細** ウィンドウを起動します。
- 4 実行可能タブをクリックして、次の URL を編集します。
`http://OMNM_IP_Address_OR_Host:OMNM_Port`
詳細については、dell.com/support/home で『OpenManage Network Manager ユーザーズガイド』を参照してください。

たとえば、次のとおりです。

`http://192.168.10.12:8080`

ObjectServer での Dell AirWave Management Platform コンソールの設定

Dell AirWave Management Platform コンソールは、デフォルトブラウザでのコンソールの起動に設定済み URL を使用します。Windows および Linux を実行しているシステム上で Dell AirWave Management Platform コンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 OMNibus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ資格情報を入力します。
- 2 **設定** ウィンドウで、**メニュー** > **ツール** と選択します。
- 3 Windows を実行しているシステムで、右ペインにある **AirWave Management Platform コンソールの起動 (Windows)** をダブルクリックして **ツール詳細** ウィンドウを起動します。
Linux を実行しているシステムで、右ペインにある **AirWave Management Platform コンソールの起動** をダブルクリックして **ツール詳細** ウィンドウを起動します。
- 4 実行可能タブをクリックして、次の URL を編集します。
`https://airwavemanagementplatform_IP_Address`

ObjectServer での Dell Connections License Manager コンソールの設定

ObjectServer の Dell Connections License Manager (DCLM) コンソールは、設定された URL を使用して、デフォルトブラウザでコンソールを起動します。Windows および Linux を実行しているシステムで DCLM コンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 OMNibus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ資格情報を入力します。
- 2 **設定** ウィンドウで、**メニュー** > **ツール** と選択します。
- 3 Windows を実行しているシステムで、右ペインにある **Dell Connections License Manager コンソールの起動 (Windows)** をダブルクリックして、**ツール詳細** ウィンドウを起動します。

Linux を実行しているシステムで、右ペインにある **Dell Connections License Manager コンソールの起動** をダブルクリックして、**ツール詳細** ウィンドウを起動します。

- 4 実行可能タブをクリックし、次のコマンド内の Dell Modular Disk Storage Manager の IP アドレスとポート番号を編集します。

```
http://<DCLM IP/Host>:<DCLM Port>/DellLicenseManagement
```

たとえば、次のとおりです。

```
http://DCLM.domain.com:8544/DellLicenceManagement
```

詳細については、dell.com/support/home で『Dell Connections License Manager ユーザーズガイド』を参照してください。

Dell ConfigUtility

ConfigUtility を使用することにより、デスクトップおよび Web GUI 用の SNMP コミュニティ文字列、WS-MAN パラメータ、および TIPJAVAHOME パラメータを設定することができます。

- ① **メモ:** Dell ConfigUtility を使用してコミュニティ文字列、WS-MAN、TIPJAVAHOME パラメータが設定されると、同じコミュニティ文字列が対応 Dell デバイス用コンソールの起動に使用されます。

関連リンク：

- [デスクトップに対する ConfigUtility の使用。](#)
- [Web GUI に対する ConfigUtility の使用。](#)

デスクトップ統合のインストール

Dell デバイス用 desktop_integration フォルダには、次のファイルが含まれています。

- dell_config.properties
- dell_MD_Array_Common.jar
- dell_OMNibus_Connection_KB_Tool_v_3_0.jar
- dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar
- dell_OMC_ITNO_Helper_v_3_0.jar
- intel_wsman_v_1_0_1.jar
- delldevice_int_desktop.ver
- snmp4j-2.3.0.jar
- SYMsdk.jar

デスクトップクライアントをホストするシステムに Dell 統合コンポーネントを導入するには、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップクライアントをインストールしたシステムの %OMNIHOME% ディレクトリに、すべてのファイルをコピーします。

① **メモ:**

- Windows を実行しているシステムでは %OMNIHOME% ディレクトリを使用します。
- Linux を実行しているシステムでは、\$OMNIHOME ディレクトリを使用します。

- 2 デスクトップクライアントをインストールしたシステムの %OMNIHOME% フォルダに、delldevice_int_desktop.ver ファイルをコピーします。
- 3 Dell ConfigUtility (dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar) を使用して、SNMP コミュニティ文字列、WS-MAN パラメータ、および TIPJAVAHOME パラメータを設定します。詳細については、「[Dell ConfigUtility](#)」を参照してください。
- 4 OMNIBROWSER という名前の環境変数を追加して、それをデフォルトブラウザまたは希望するブラウザのパスに設定します。

- ① **メモ:** これは、Windows を実行しているシステムと Linux を実行しているシステムに該当します。

デスクトップに対する Dell ConfigUtility の使用

デスクトップ用の SNMP コミュニティ文字列、WS-MAN パラメータ、および TIPJAVAHOME パラメータの設定のために Dell ConfigUtility を使用するには、次の手順を実行します。

1 デスクトップコンポーネントがインストールされているシステムの %OMNIHOME% ディレクトリに移動します。

2 SNMP コミュニティ文字列を設定するには、次のコマンドを実行します。

a IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 8.1 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
%NCHOME%\platform\
```

Linux を実行しているシステム :

```
$NCHOME/platform//jre_1.7.0/jre/bin/java -Ddell.config.path=desktop -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -communitystring=public
```

b IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 7.4 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
%NCHOME%\platform\
```

Linux を実行しているシステム :

```
$NCHOME/platform//jre_1.6.7/jre/bin/java -Ddell.config.path=desktop -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -communitystring=public
```

3 ユーザー名およびパスワードなどの WS-MAN パラメータを設定するには、次のコマンドを実行します。

a IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 8.1 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
%NCHOME%\platform\
```

Linux を実行しているシステム :

```
$NCHOME/platform//jre_1.7.0/jre/bin/java -Ddell.config.path=desktop -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -wsmanusername=root -wsmanpassword
```

b IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 7.4 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
%NCHOME%\platform\
```

Linux を実行しているシステム :

```
%NCHOME%\platform\
```

4 TIPJAVAHOME パラメータを設定するには、次のコマンドを実行します。

a IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 8.1 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
%NCHOME%\platform\
```

Linux を実行しているシステム :

```
$NCHOME/platform//jre_1.7.0/jre/bin/java -Ddell.config.path=desktop -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -tipjavahome=<WebSphere java home path>
```

b IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 7.4 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
%NCHOME%\platform\<<specificplatform>\jre_1.6.7\jre\bin\java -Ddell.config.path=desktop -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -tipjavahome=<java home path>
```

Linux を実行しているシステム :

```
$NCHOME/platform/<specificplatform>/jre_1.6.7/jre/bin/java -Ddell.config.path=desktop -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -tipjavahome=<java home path>
```

デスクトップサーバーでの Dell 保証レポートツールの設定

Dell 保証レポートツールは、監視している Dell デバイスによって生成されたイベントから起動することができ、そのデバイスについての保証情報を取得するために使用されます。

インターネットへの直接アクセスがなく、プロキシ設定を使用してインターネットにアクセスしている場合、保証レポートツールはデスクトップサーバーで設定する必要があります。この場合、Linux を実行しているシステムでは、ファイル `/etc/host` でホスト名 `api.dell.com` を解決し、Windows を実行しているシステムでは、`C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts` でホスト名 `api.dell.com` を解決するようにしてください。

たとえば、次のとおりです。

```
143.166.11.198 api.dell.com
```

Web GUI 統合のインストール

`webgui_integration` フォルダ内の `import` サブフォルダには、次のファイルが含まれています。

- `cmclauncher_linux.cgi`
- `cmclauncher_nt.cgi`
- `compellent_linux.cgi`
- `compellent_nt.cgi`
- `dell_config.properties`
- `dell_MD_Array_Common.jar`
- `dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar`
- `dell_OMC_ITNO_Helper_v_3_0.jar`
- `delldevice_int_webgui.ver`
- `draclauncher_linux.cgi`
- `draclauncher_nt.cgi`
- `eqllauncher_linux.cgi`
- `eqllauncher_nt.cgi`
- `export.xml`
- `idraclauncher_linux.cgi`
- `idraclauncher_nt.cgi`
- `intel_wsman_v_1_0_1.jar`
- `kblauncher_linux.cgi`
- `kblauncher_nt.cgi`
- `n_switchadminlauncher_linux.cgi`
- `n_switchadminlauncher_nt.cgi`
- `omsalauncher_linux.cgi`
- `omsalauncher_nt.cgi`
- `snmp4j-2.3.0.jar`
- `SYMsdk.jar`

- vrtxcmlauncher_linux.cgi
- vrtxcmlauncher_nt.cgi
- warranty_linux.cgi
- warranty_nt.cgi

Web GUI をホストするシステムに Dell 統合コンポーネントを導入するには、次の手順を実行します。

- 1 次の jar ファイルと dell_config.properties ファイルを、\$NCHOME/omnibus_webgui から Web GUI コンポーネントをインストールしたシステムにコピーします。
 - dell_config.properties
 - dell_MD_Array_Common.jar
 - dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar
 - dell_OMC_ITNO_Helper_v_3_0.jar
 - delldevice_int_webgui.ver
 - export.xml
 - intel_wsman_v_1_0_1.jar
 - snmp4j-2.3.0.jar
 - SYMSdk.jar
- 2 **Dell ConfigUtility** ファイルを使用して、SNMP コミュニティ文字列、WS-MAN パラメータ、および TIPJAVAHOME を設定します。詳細については、[Dell ConfigUtility](#) を参照してください。
- 3 Web GUI コンポーネントがインストールされているシステムで、\$NCHOME/omnibus_webgui に delldevice_int_webgui.ver ファイルをコピーします。
- 4 webgui_integration フォルダを抽出した場所にある **インポート** フォルダに移動して、統合ごとに次のコマンドを実行します。

① メモ: デフォルトで、ObjectServer は NCOMS です。ObjectServer が NCOMS 以外の場合は、import フォルダに移動して export.xml ファイルを開き、そこにある datasource (これが NCOMS です) のすべてを実際の ObjectServer 名に置き換えてください。

例えば、

```
datasource="NCOMS"
```

を次のように変更します。

```
datasource="<ObjectServer_Name>"
```

- a IBM Tivoli Netcool/OMNibus 8.1 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
<WEB GUI home directory>\waapi\bin\runwaapi -host <hostname> -user <Web GUI username> -password <Web GUI password> -file export.xml
```

Linux を実行しているシステム :

```
<WEB GUI home directory>/waapi/bin/runwaapi -host <hostname> -user <Web GUI username> -password <Web GUI password> -file export.xml
```

- b IBM Tivoli Netcool/OMNibus 7.4 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
<WEB GUI home directory>\waapi\bin\runwaapi -host <hostname> -user <Web GUI username> -password <Web GUI password> -file export.xml
```

Linux を実行しているシステム :

```
<WEB GUI home directory>/waapi/bin/runwaapi -host <hostname> -user <Web GUI username> -password <Web GUI password> -file export.xml
```

- 5 Web GUI コンポーネントがデフォルト以外の場所、または %NCHOME%\..\tipv2 以外の場所にインストールされている場合は、TIPJAVAHOME 環境パスをこのバージョンの Java で java -Ddell.config.path=webgui> -jar

dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar - tipjavahome= C:\Program Files (x86)\Java\jre6\bin のように設定します。

たとえば、次のとおりです。

Java が C:\Program Files (x86)\Java\jre6\bin\java.exe にインストールされている場合は、TIPJAVAHOME パスを tipjavahome= C:\Program Files (x86)\Java\jre6\bin に設定します。

① メモ: お使いのシステムに IBM Tivoli Netcool OMNibus のみをインストールした場合、Tivoli Integrated Portal (TIP) は使用できません。この場合、TIPJAVAHOME 環境パスを設定しているときに WebSphere ホームディレクトリの場所を使用することができます。

たとえば、次のとおりです。

Java が C:\Program Files (x86)\IBM\WebSphere\AppServer\java\jre\bin\java.exe にインストールされている場合は、TIPJAVAHOME パスを tipjavahome= C:\Program Files (x86)\IBM\WebSphere\AppServer\java\jre\bin に設定します。

Web GUI への Dell ConfigUtility の使用

Web GUI 用の SNMP コミュニティ文字列、WS-MAN パラメータ、および TIPJAVAHOME パラメータの設定のために Dell ConfigUtility を使用するには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI コンポーネントがインストールされているシステムの Web GUI インストールディレクトリに移動します。
- 2 SNMP コミュニティ文字列を設定するには、次のコマンドを実行します。

- a IBM Tivoli Netcool/OMNibus 8.1 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
<WebSphere home directory>\java\jre\bin\java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -communitystring=public
```

Linux を実行しているシステム :

```
<WebSphere home directory>/java/jre/bin/java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -communitystring=public
```

- b IBM Tivoli Netcool/OMNibus 7.4 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
<Tivoli Integrated Portal home directory>\java\jre\bin\java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -communitystring=public
```

Linux を実行しているシステム :

```
<Tivoli Integrated Portal home directory>/java/jre/bin/java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -communitystring=public
```

- 3 ユーザー名およびパスワードなどの WS-MAN パラメータを設定するには、次のコマンドを実行します。

- a IBM Tivoli Netcool/OMNibus 8.1 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
<WebSphere home directory>\java\jre\bin\java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -wsmanusername=root -wsmanpassword
```

Linux を実行しているシステム :

```
<WebSphere home directory>/java/jre/bin/java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -wsmanusername=root -wsmanpassword
```

- b IBM Tivoli Netcool/OMNibus 7.4 の場合 :

Windows を実行しているシステム :

```
<Tivoli Integrated Portal home directory>\java\jre\bin\java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -wsmanusername=root -wsmanpassword
```

Linux を実行しているシステム :

```
<Tivoli Integrated Portal home directory>/java/jre/bin/java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -wsmanusername=root -wsmanpassword
```

4 TIPJAVAHOME パラメータを設定するには、次のコマンドを実行します。

a IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 8.1 の場合：

Windows を実行しているシステム：

```
<WebSphere home directory>\java\jre\bin\java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -tipjavahome=<WebSphere java home path>
```

Linux を実行しているシステム：

```
<WebSphere home directory>/java/jre/bin/java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -tipjavahome=<WebSphere java home path>
```

b IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.4 の場合：

Windows を実行しているシステム：

```
<Tivoli Integrated Portal home directory>\java\jre\bin\java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -tipjavahome=<java home path>
```

Linux を実行しているシステム：

```
<Tivoli Integrated Portal home directory>/java/jre/bin/java -Ddell.config.path=webgui -jar dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_3_0.jar -tipjavahome=<java home path>
```

Web GUI サーバーでの Dell ツールメニューのアップデート

Web GUI コンポーネントの **アラート** メニューで **Dell ツール** メニューをアップデートするには、次の手順を実行します。

- 以下の手順を実行して、**アラート** メニューを編集します。
 - 管理 > イベント管理ツール** とクリックします。
 - メニュー設定** に移動します。
 - 右ペインにある **使用できるメニュー** で **アラート** を選択します。
 - 変更** をクリックします。
 - 使用できるアイテム** ドロップダウンリストから **メニュー** を選択します。
 - 現在のアイテム** に **Dell ツール** を追加します。
 - 保存** をクリックします。
- 管理 > 使用可能性 > イベント > アクティブイベントリスト (AEL)** に移動して、リストを更新し、新しく追加されたメニューを同期させます。
- Dell デバイスアラートを右クリックして、それぞれの Dell コンソール起動ツールが使用可能であることを確認します。

Web GUI での Dell Server Administrator Web Server コンソールの設定

Dell Server Administrator Web Server コンソールの起動 を設定するには、次の手順を実行します。

- Web GUI にログインします。
- 管理 > イベント管理ツール > ツール作成** とクリックします。
- 右ペインで **LaunchDellServerAdministratorWebServerConsole** を選択して **ツール設定** ウィンドウを起動します。
- IP アドレスとポート番号を入力して、次の URL を編集します。

```
https://<Server Administrator Web Server Host/IP>:<Server Administrator Web Server PORT>/omalogin.html?managedws=false&mnip=@Node
```

たとえば、次のとおりです。

```
https://11.95.145.156:1311/omalogin.html?managedws=false&mnip=@Node
```

詳細については、dell.com/support/home で『Dell サーバー管理者』マニュアルを参照してください。

Web GUI での Dell OpenManage Essentials (OME) コンソールの設定

Dell OpenManage Essentials コンソールの起動を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI にログインします。
- 2 **管理 > イベント管理ツール > ツール作成** とクリックします。
- 3 右ペインで **LaunchDellOpenManageEssentialsConsole** を選択して、**ツール設定** ウィンドウを起動します。
- 4 OME の IP アドレスとポート番号を入力して、次の URL を編集します。

```
https://<OpenManage Essentials Host/IP>:<OpenManage Essentials PORT>
```

たとえば、次のとおりです。

```
https://11.95.145.156:2607/
```

詳細については、dell.com/support/home で『OpenManage Essentials ユーザーズガイド』を参照してください。

Web GUI での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定

コンソールを起動させるサーバーには、Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager (MDSM) コンソールがインストールされている必要があります。

Dell Modular Disk Storage Manager コンソールの起動を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI にログインします。
- 2 **管理 > イベント管理ツール > ツール作成** とクリックします。
- 3 右ペインで **LaunchDellModularDiskStorageManagerConsole** を選択して、**ツール設定** ウィンドウを起動します。
- 4 必要に応じて、以下のコマンドをアップデートします。

Windows を実行しているシステムの場合

```
"%PROGRAMFILES%\Dell\MD Storage Software\MD Storage Manager\client\Modular Disk Storage Manager Client.exe"
```

Linux を実行しているシステムの場合

```
"/opt/dell/mdstoragesoftware/mdstoragemanager/client/SMclient"
```

Web GUI での Dell OpenManage Network Manager (OMNM) コンソールの設定

Dell OpenManage Network Manager コンソールを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI にログインします。
- 2 **管理 > イベント管理ツール > ツール作成** とクリックします。
- 3 右ペインで **LaunchDellOpenManageNetworkManagerConsole** を選択して、**ツール設定** ウィンドウを起動します。
- 4 OMNM の IP アドレスとポート番号を入力して、次の URL を編集します。

```
http://OMNM_IP_Address_OR_Host:OMNM_Port
```

たとえば、次のとおりです。

http://192.168.10.12:8080

詳細については、dell.com/support/home で『OpenManage Essentials ユーザーズガイド』を参照してください。

Web GUI での Dell AirWave Management Platform コンソールの設定

Dell AirWave Management Platform コンソールを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI にログインします。
- 2 **管理 > イベント管理ツール > ツール作成** とクリックします。
- 3 右ペインで **LaunchDellAirWaveManagementPlatformConsole** を選択して、**ツール設定** ウィンドウを起動します。
- 4 次の URL を編集します。

```
https://airwavemanagementplatform_IP_Address
```

Web GUI での Dell Connections License Manager コンソールの設定

Dell Connections License Manager (DCLM) コンソールの起動を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI にログインします。
- 2 **管理 > イベント管理ツール > ツール作成** とクリックします。
- 3 右ペインで **LaunchDellConnectionsLicenseManagerConsole** を選択して、**ツール設定** ウィンドウを起動します。
- 4 Dell Connections License Manager の IP アドレスとポート番号を入力して、次の URL を編集します。

```
http://<DCLM IP/Host>:<DCLM Port>/DellLicenseManagement
```

たとえば、次のとおりです。

```
http://DCLM.domain.com:8544/DellLicenceManagement
```

詳細については、dell.com/support/manuals で『Dell Connections License Manager ユーザーズガイド』を参照してください。

Web GUI での Dell 保証レポートツールの設定

Dell 保証レポートツールは、監視している Dell デバイスによって生成されたイベントから起動することができ、そのデバイスについての保証情報を取得するために使用されます。

インターネットへの直接アクセスがなく、プロキシ設定を使用してインターネットにアクセスしている場合、保証レポートツールは Web GUI サーバーで設定する必要があります。この場合、Linux を実行しているシステムでは、ファイル `/etc/host` でホスト名 `api.dell.com` を解決し、Windows を実行しているシステムでは、`C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts` でホスト名 `api.dell.com` を解決するようにしてください。

たとえば、次のとおりです。

```
143.166.11.198 api.dell.com
```

Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの Dell コンソールの設定

Linux を実行しているシステム上では、Web GUI サーバーで Dell デバイス固有のコンソールを設定する必要があります。
Linux を実行しているシステムで Dell コンソール起動ツールを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 Linux を実行しているシステムで Web GUI にログインします。
- 2 **管理 > イベント管理ツール > ツール作成** とクリックします。
- 3 起動する Dell コンソールをダブルクリックします。
- 4 起動する Dell コンソールに基づいて、CGI スクリプトの名前、または URL を変更します。
設定する必要がある Dell コンソール、およびそれらに対応する CGI スクリプトまたは URL の詳細については、次の表を参照してください。

たとえば、次のとおりです。

iDRAC コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

管理 > イベント管理ツール > ツール作成 の順に移動し、**LaunchDellIDRACConsole** をクリックしてから、URL セクションの CGI の名前を右ペインで **idraclauncher_linux.cgi** に変更します。

表 9. Dell コンソール起動ツールとそれらに対応する CGI スクリプト / URL / コマンド

コンソール起動ツール	CGI スクリプト / URL
Dell Server Administrator コンソール	omsalauncher_linux.cgi
Dell Server Administrator Web Server コンソール	https://<Server Administrator Web Server Host/IP>:<Server Administrator Web Server PORT>/omalogin.html?managedws=false&mnip=@Node
Dell iDRAC コンソール	idraclauncher_linux.cgi
Dell Remote Access Controller コンソール	draclauncher_linux.cgi
Dell Chassis Management Controller コンソール	cmclauncher_linux.cgi
Dell Compellent Storage Manager コンソール	compellent_linux.cgi
Dell EqualLogic Group Manager コンソール	eqllauncher_linux.cgi
OpenManage Switch Administrator コンソール	n_switchadminlauncher_linux.cgi
Dell OpenManage Network Manager コンソール	http://OMNM_IP_Address_OR_Host:OMNM_Port
Dell AirWave Management Platform コンソール	https://airwavemanagementplatform_IP_Address
Dell OpenManage Essentials コンソール	https://OME_IP_Address_OR_Host:OME_Port
Dell Connections License Manager	http://DCLM_IP:DCLM_Port/DellLicenseManagement
Dell 保証レポート	warranty_linux.cgi
Dell サーバートラップ設定情報	kblauncher_linux.cgi

Dell OpenManage Connection for Netcool/ OMNibus のアップグレード

Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus をアップグレードするには、次の手順を実行します。

- 1 既存の接続をアンインストールします。詳細については、『Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus インストールガイド』を参照してください。既存のバージョンについては、dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement にアクセスしてください。
- 2 「[Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus のインストール](#)」で説明されているインストール手順を使用して最新バージョンをインストールします。

Dell OpenManage Connection for Netcool/ OMNibus のアンインストール

Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNibus をアンインストールするには、コンポーネント固有ファイルをアンインストールまたは削除する必要があります。

トピック：

- [プローブ統合のアンインストール](#)
- [ObjectServer 統合のアンインストール](#)
- [デスクトップ統合のアンインストール](#)
- [Web GUI 統合のアンインストール](#)

プローブ統合のアンインストール

プローブ統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 プローブコンポーネントをインストールしたシステムの `%NC_RULES_HOME%/include-snmpttrap` フォルダに移動します。
 - ① **メモ:** Linux を実行しているシステムでは、`$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap` フォルダを使用します。
- 2 `$NC_RULES_HOME\snmpttrap-rules.file` に移動し、次のコマンドを削除します。
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.rules"`
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.lookup"`
- 3 `$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap` で `dell` フォルダを削除します。
- 4 `%OMNIHOME%` ディレクトリに移動して、`delldevice_int_mttrapdprobe.ver` バージョンファイルを削除します。
- 5 **OMNibus MTTTrapd** SNMP プロブサービス (`NCOMTTTRAPDProbe`) またはプロセス (`nco_p_mttrapd`) を再起動します。

ObjectServer 統合のアンインストール

ObjectServer 統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 OMNibus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ資格情報を入力します。
- 2 **設定** ウィンドウで、**メニュー** > **ツール** と選択します。
- 3 次のツールを右クリックして、**削除** をクリックします。
 - **Dell Server Administrator コンソールの起動**
 - **Dell Server Administrator Web Server コンソールの起動**
 - **iDRAC コンソールの起動**
 - **Dell Remote Access Controller コンソール**
 - **Dell Chassis Management Controller コンソールの起動**
 - **Dell Compellent Storage Manager コンソール**
 - **Dell Modular Disk Storage Manager コンソールの起動**
 - **EqualLogic Group Manager コンソールの起動**

- Dell OpenManage Switch Administrator コンソール
 - Dell OpenManage Network Manager コンソール
 - Dell AirWave Management Platform コンソール
 - Dell Connections License Manager コンソールの起動
 - Dell 保証レポート
 - OpenManage Essentials コンソールの起動
 - Dell サーバートラップ設定情報
- 4 設定 ウィンドウで、**メニュー > メニュー** を選択します。
- 5 **アラートメニュー** で、**Dell ツール** を選択します。
- 6 **Dell ツール** を右クリックし、**削除** をクリックします。
- 7 設定 ウィンドウで、**自動化トリガ** に移動して、以下のトリガを削除します。
- dell_idrac_clear
 - dell_idrac_deduplicate_clear
 - dell_omsa_clear
 - dell_omsa_deduplicate_clear
 - dell_cmc_clear
 - dell_cmc_deduplicate_clear
 - dell_compellent_clear
 - dell_compellent_deduplicate_clear
 - dell_equallogic_clear
 - dell_equallogic_deduplicate_clear
 - dell_mdarray_clear
 - dell_mdarray_deduplicate_clear
 - dell_enterprise_switch_clear
 - dell_enterprise_switch_deduplicate_clear
 - dell_nseries_clear
 - dell_nseries_deduplicate_clear
 - dell_dclm_clear
 - dell_dclm_deduplicate_clear
- 8 設定 ウィンドウで **ビジュアル変換** に移動して、**クラス** メニューを展開します。次を右クリックし、**削除** をクリックします。
- Dell サーバー (2080)
 - Dell iDRAC (2088)
 - Dell DRAC (2087)
 - Dell CMC (2086)
 - Dell Chassis (2094)
 - Dell VRTX CMC (2084)
 - Dell Compellent ストレージレイ (2090)
 - Dell MD Storage Array (2809)
 - Dell Equallogic (2085)
 - Dell Enterprise シリーズスイッチ (2091)
 - Dell N-Series スイッチ (2092)
 - Dell W-Series モビリティコントローラ (2093)
 - Dell DCLM (2081)
- 9 ObjectServer がインストールされているシステムの %OMNIHOME% ディレクトリで、ファイル delldevice_int_objectserver.ver を削除します。
- 10 イベントリストを開いて、**ファイル > 再同期化 > すべて** を選択します。
- 11 Web GUI を再起動します。

デスクトップ統合のアンインストール

デスクトップ統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップ統合コンポーネントをインストールしたシステムの %OMNIHOME% ディレクトリに移動します。
- 2 次の手順を実行します。
 - delldevice_int_desktop.ver ファイルを削除します。
 - すべてのデスクトップ統合 — 以下のファイルを削除します。
 - dell_config.properties
 - dell_MD_Array_Common.jar
 - dell_OMNIBus_Connection_KB_Tool_v_2_2.jar
 - dell_OMC_ITNO_Helper_v_2_2.jar
 - dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_2_2.jar
 - intel_wsman_v_1_0_1.jar
 - snmp4j-2.3.0.jar
 - SYMsdk.jar

Web GUI 統合のアンインストール

Web GUI 統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI にログインします。
- 2 webgui_integration フォルダから次のファイルを削除します。
 - dell_config.properties
 - dell_MD_Array_Common.jar
 - dell_OMC_ITNO_ConfigUtility_v_2_2.jar
 - dell_OMC_ITNO_Helper_v_2_2.jar
 - delldevice_int_webgui.ver
 - export.xml
 - intel_wsman_v_1_0_1.jar
 - snmp4j-2.3.0.jar
 - SYMsdk.jar
- 3 **管理 > イベント管理ツール > ツール作成** の順に移動します。
- 4 次のツールを選択して、**削除** をクリックします。
 - **Dell Server Administrator コンソールの起動**
 - **Dell Server Administrator Web Server コンソールの起動**
 - **iDRAC コンソールの起動**
 - **Dell Remote Access Controller コンソール**
 - **Dell Chassis Management Controller コンソールの起動**
 - **Dell Compellent Storage Manager コンソール**
 - **Dell Modular Disk Storage Manager コンソールの起動**
 - **EqualLogic Group Manager コンソールの起動**
 - **Dell OpenManage Switch Administrator コンソール**
 - **Dell OpenManage Network Manager コンソール**
 - **Dell AirWave Management Platform コンソール**
 - **Dell Connections License Manager コンソールの起動**

- Dell 保証レポート
 - OpenManage Essentials コンソールの起動
 - Dell サーバートラップ設定情報
- 5 管理 > イベント管理ツール > メニュー設定 の順に移動します。
 - 6 利用可能メニュー で、Dell ツール を選択して、削除 をクリックします。
 - 7 管理 > イベント管理ツール > CGI レジストリ の順に移動します。
 - 8 次の .cgi ファイルを選択して、登録解除 をクリックします。
 - idraclauncher_linux.cgi
 - idraclauncher_nt.cgi
 - draclauncher_linux.cgi
 - draclauncher_nt.cgi
 - cmclauncher_linux.cgi
 - cmclauncher_nt.cgi
 - compellent_linux.cgi
 - compellent_nt.cgi
 - eqllauncher_linux.cgi
 - eqllauncher_nt.cgi
 - n_switchadminlauncher_linux.cgi
 - n_switchadminlauncher_nt.cgi
 - omsalauncher_linux.cgi
 - omsalauncher_nt.cgi
 - warranty_linux.cgi
 - warranty_nt.cgi
 - kblauncher_linux.cgi
 - kblauncher_nt.cgi
 - 9 Web GUI コンポーネントを再起動します。

デルサポートサイトからのマニュアルへのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- 次のリンクを使用します。
 - すべての Enterprise システム管理マニュアル - dell.com/softwaresecuritymanuals
 - エンタープライズシステム管理マニュアル — dell.com/openmanagemanuals
 - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — dell.com/esmmanuals
 - OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル — dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
 - Serviceability Tools マニュアル — dell.com/serviceabilitytools
 - クライアントシステム管理マニュアル — dell.com/clientsystemsmanagement
 - OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル — dell.com/dellclientcommandssuitemanuals
- Dell サポートサイトから、
 - a dell.com/support/home にアクセスします。
 - b **製品の選択** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
 - c **ソフトウェアとセキュリティ** グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
 - **クライアントシステム管理**
 - **接続クライアントシステム管理**
 - d ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

デルへのお問い合わせ

① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 **dell.com/support** にアクセスしてください。
- 2 サポートカテゴリを選択します。
- 3 ページの下部にある **国 / 地域**の選択 ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
- 4 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。